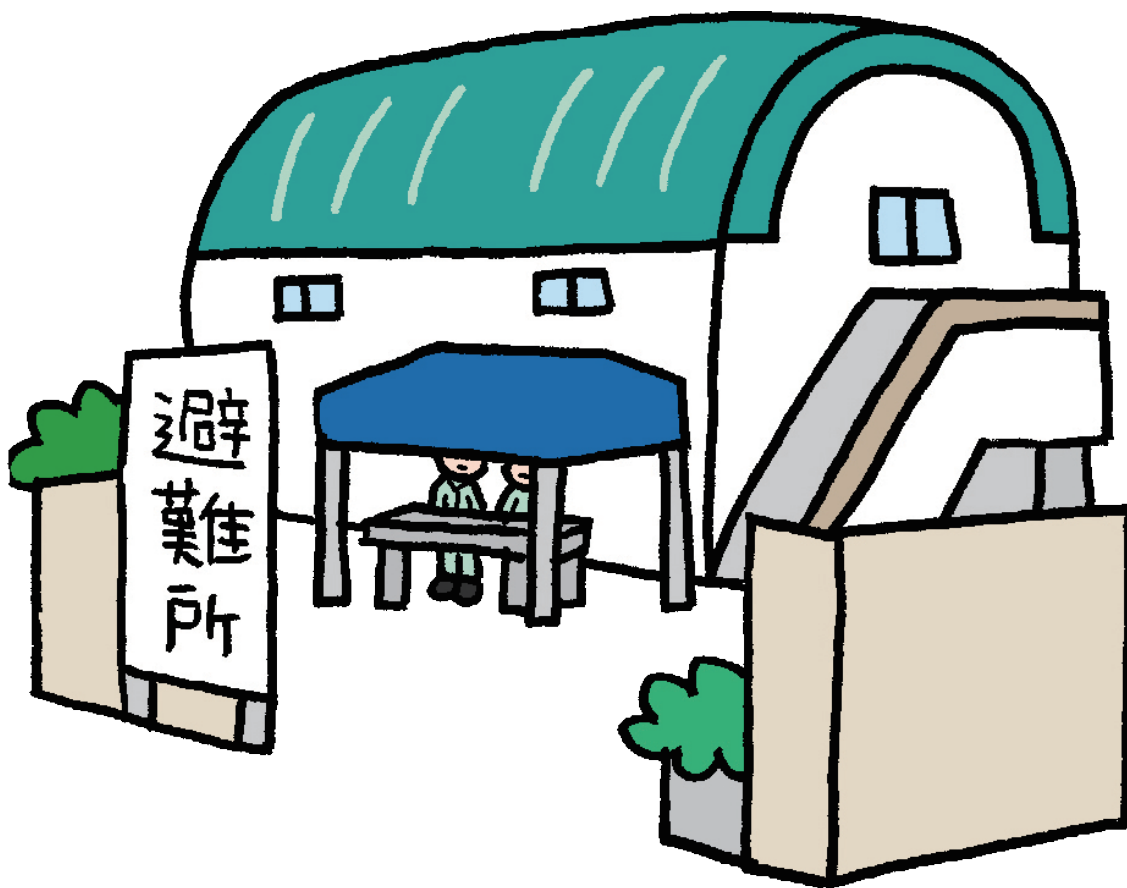


生駒市総合防災訓練(2021年11月14日)

壱分小学校避難所開設防災訓練のまとめ

～反省と今後に向けて～



2022年10月1日発行

発行 生駒市市民自治協議会 やまびこネットワーク
編集 壱分小学校避難所開設訓練検討チーム

目次

①壱分小学校避難所開設討論会の目的	1
②避難訓練当日のタイムフロー	2
③避難所役割分担	3
④避難所開設訓練の様子	4～9
(1) 事前準備	
(2) 受付け	
(3) 居住エリア設営	
・ワンタッチパーテーション	
・段ボール製パーテーション（背高）	
・段ボール製パーテーション（背低）	
・段ボールベッド	
・組み立て式テント	
・ワンタッチ式テント	
(4) 情報伝達・記録	
(5) 発電機・投光器動作確認	
(6) 非常食等、備品の展示	
⑤振り返りと今後の課題	10
⑥やまびこネットワークの過去の防災活動実績	11

・壱分小学校避難所開設討論会の目的

昨今の自然災害（大雨、大規模地震）もいつどこで発生してもおかしくない状況です。このような環境下、今回の生駒市総合訓練は生駒断層地震（震度7）を想定した防災訓練を避難所単位で行いました。

- ①避難所開設に必要とする備品・人数の確認。
- ②避難所の収容可能人数の確認、必要組織の確認。
- ③避難所開設に当たっての課題を確認。

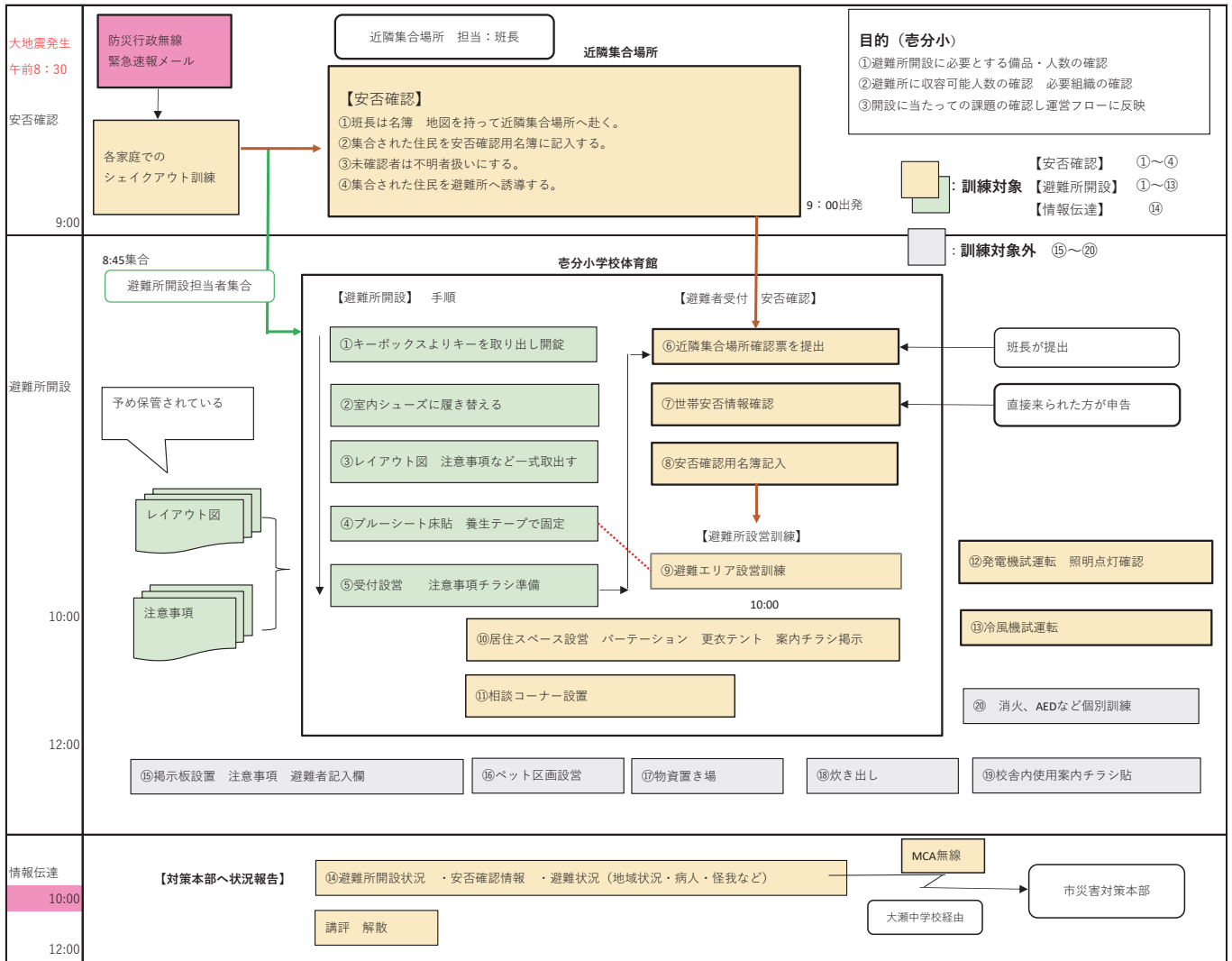
記

- 1、日時 令和3年11月4日（日） 午前8時30分～12時
- 2、対象自治会 壱分町東 さつき台 さつき台南 翠光台
- 3、集合場所 各自治会の定めた近隣集合場所
- 4、避難所 壱分小学校体育館

自治会	トータル 参加人数	大人	小人			訓練参加者
				リーダー	スタッフ	
壱分町東	85	70	15	坂本 山野	5	78
さつき台	97	80	17	中瀬 日比野	9	86
さつき台南	32	32	0	酒井 佐野	10	20
翠光台	12	12	0	石川 小西	1	9
壱分小	2	2	0	石岡 徳富	0	0
職員	3	3	0	立岡 松下 小泉	0	0
	231	199	32	12	25	193

令和3年11月14日生駒市総合防災訓練概略フロー 壹分小避難所

4自治会・自主防災会（壹分町東 さつき台 さつき台南 翠光台）



※今回の生駒市総合防災訓練フローにおいては、コロナ禍の影響もあり炊き出しをはじめ⑮～⑯の内容は中止となりました。

今後の課題として、次年度以降に対応していくものとする。



令和3年11月14日生駒市総合防災訓練 壱分小避難所組織・役割分担表

開設担当 8時45分集合
 スタッフ 9時集合 体育館

総責任者：坂本 施設管理者：石岡校長

グループ	責任者	内容	人数
A.安否確認	各自治会	①近隣集合場所にての安否確認 ②安否確認名簿まとめ ③壱分小避難所へ誘導	
B.避難所事前準備 壱分町東	坂本	防災訓練概略フロー避難所開設①～④	開設担当全員15名+ 各自治会1名
C.避難所受付 さつき台	中瀬	①受付設営 ②検温 ③近隣集合場所安否確認名簿受付 ④直接避難所へ来られた方の受付 ⑤安否確認名簿自治会単位にまとめ ⑥避難所概要説明、案内チラシ配布 ⑦各訓練への割振りと指示 ⑧相談コーナー設営	スタッフ (9) 名
D.居住エリア設営 さつき台南	酒井	①養生テープで各居住スペース確保 ②パーティション (壱小保管・購入分) ③更衣テント設営 簡易ベッド2台組み立て ④パーティション設置のローテーション ⑤消耗品設置機設置 ⑥案内看板 案内チラシ設置 ⑦居住スペース体験	スタッフ (10) 名
E.情報伝達・記録 翠光台	石川	①安否確認名簿避難所全体のまとめ ②避難所開設状況・近隣被害状況のまとめ ③大瀬中情報伝達・各Gr. ヘフィードバック ④訓練状況の写真撮影・記録のまとめ ⑤動画撮影 編集	スタッフ (1) 名
F.個別訓練 壱分町東	山野	①発電機試運転・投光器確認 ②冷風機試運転	スタッフ (5) 名
G.備品調達・管理 棚卸 さつき台	日比野 徳富教頭	①備品の事前購入 ②備品貸出管理 ③壱分小保管防災備品の棚卸	

事前準備の様子

- ・8時10分時点で坂本会長、学校長をはじめ、スタッフ20名程が到着し準備を開始。
- ・土足のままで実施するので、ブルーシートをアリーナ全体に引く。
- ・到着した参加者（避難者）には随時養生テープで区画づくりに参加してもらう。



受付の様子

- ・コロナ禍での開催となり参加者（避難者）の検温作業。
- ・各自治体の避難者名簿の受け取り、内容確認作業。



居住エリア設営の様子（ワンタッチパーテーション）

- ・設営は意外と簡単にでき、好評であった。
- ・完成後は、お子様からご年配の方まで中に入りくつろぐ場面がありました。
- ・大人目線より高く、プライバシー保護の観点から望ましいと思われた。



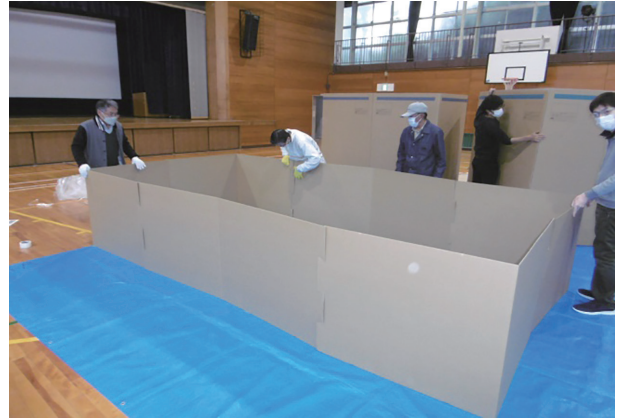
居住エリア設営の様子（段ボール製パーテーション・背高）

- ・設営は子供では難しいが、大人2・3人で簡単に組み立てでき高評価であった。
- ・入り口にカーテン等の工夫をすれば、一部屋扱いとして利用が可能。
- ・高さがありプライバシー確保に役立つ。女性からも好評であった。



居住エリア設営の様子（段ボール製パーティション・背低）

- ・設営が簡単で、収容人数も融通が利くメリットがある。
- ・コストパフォーマンスが良く、数が揃えやすい。但し、高さが低くプライバシー保護の観点から実用性が乏しい。
- ・強度には若干の心配はあるが、軽量で持ち運びには適している。



居住エリア設営の様子（段ボールベッド）

- ・思っていたよりベッドは頑丈で寝心地・硬さもそれほど気にならない。
- ・何よりも床で寝るより暖かくて良いという意見が多かった。
- ・デメリットとしてはスペースを使うことと組み立てに手間がかかる。



居住エリア設営の様子（組み立て式テント）

- ・組み立てにやや時間がかかるが、数人であれば5・6分程度で組み立て可能
- ・安定性に難ありの為、固定があれば良い。
- ・程よい広さで、2・3人でもゆっくりできる。



居住エリア設営の様子（ワンタッチ式テント）

- ・組み立ては非常に簡単で参加者からも高評価。
- ・高さも有り、広い空間スペースで更衣室として同時に4人まで使用可能。
- ・プライバシー確保には実用性は高い。



情報伝達・記録の様子

- ・体育館放送室に設置されている防災無線を使用し避難所の現況を報告。
- ・避難情報のまとめ役である大瀬中学校と通信訓練を実施。
- ・無線の混線によりスムーズな情報伝達ができなかったのが今後の課題。
- ・無線機の操作は非常に簡単。



発電機・投光器動作確認の様子

- ・LPG 式の為、燃料の長期保存に向いている。
- ・燃料が手に入りにくい。
- ・重量がある為、女性や子供では持ち運びが難しい。



非常食等、備品展の様子

- ・今回の防災訓練では、コロナ禍の為備品展示のみとなった。
- ・各家庭でも非常時に備えて、防災用品を準備するように心がけましょう。



【振り返りと課題】

1. 訓練の継続性

- ・参加者全員参加型にして、各メニューを体験したことは、災害について考えるきっかけになった。
- ・今回の訓練をきっかけに、各自治会に持ち帰り、各自治会内での訓練につなげていく。

2. 安否確認

- ・各自治会で設定した一時避難所で安否確認をしたが、壱分小避難所の受付で、実質の安否確認となったので、近隣避難所での安否確認について見直しが必要と言える。安否確認は、地域の特性に合った安否確認方法の訓練が必要と考える。

3. 情報伝達

- ・大瀬中を中継拠点として行ったが、中継拠点にもタイムリーにつながらず対策本部にいつどのように伝わっているのか、本部がどのように現場の状況を把握したのか不明であった。
- ・本部からフィードバックの問い合わせもなく、有事の場合混乱につながると言える。
- ・MCAの制約により中学校を中継拠点にしたとのことだが、中継拠点を設けずとも、本部で受け入れのグループを分けるなどで対応可能と考える。現場の情報を生で直に収集する体制が必要と考える。

4. 分散避難

- ・体育館での収容可能人数が数十名であり、グラウンド、教室とかの収容についての検討が必要。
- ・昨今の建築物は耐震対策がとられており、自宅避難が多くなる傾向。又ホテル、親類宅、自動車避難などの増加が予想される。
- ・具体的に分散避難の策についての検討に着手する時期に来ているのではないかと考える。

【やまびこネットワークの防災訓練実績】

1. 2012年4月 やまびこネットワーク設立
2. 2016年7月 生駒市民自治協議会「やまびこネットワーク」設立
3. やまびこネットワークの目的と構成

(目的)

壱分小学校の住民自ら身近な課題を自主的に解決し自立したまちづくりを行う。

(構成)

壱分小学校区の自治会、老人クラブ、民生委員児童委員、PTA、かざぐるま、健康づくり推進員連絡協議会等の市民活動団体により構成されている。

区域は、壱分町東、壱分町西、壱分南、さつき台、さつき台南、イトーピア生駒ファインコート、翠光台、南山手台の8自治会地区。

4. 防災訓練の実績 壱分小学校区の8自治会の住民が参加

<第1回防災訓練>

- ・2015年1月25日 参加者 445名 壱分小学校グラウンド
- ・訓練内容 ①AED ②バケツリレー ③油消火 ④放水デモ
⑤炊き出し（アルファ米、豚汁）

<第2回防災訓練>

- ・2016年1月24日 参加者 502名 壱分小学校グラウンド
- ・訓練内容 ①避難受付 ②リヤカー、車いす避難 ③バケツリレー ④油消火
⑤消火器 ⑥炊き出し

<第3回防災訓練>

- ・2016年12月4日 参加者 244名 壱分小学校体育館
- ・訓練内容 ①避難受付 ②内閣府防災ビデオ鑑賞 ③防災無線 ④炊き出し

<第4回防災訓練>

- ・2018年1月28日 参加者 249名 壱分小学校体育館
- ・訓練内容 ①安否確認 ②トイレ ③ベッド ④発電機 ⑤炊き出し

<第5回防災訓練>

- ・2019年1月27日 参加者 165名 壱分小学校体育館
- ・訓練内容 ①避難受付 ②防災グッズ手作り（マスク、スリッパ） ③テント張
④発電機 ⑤炊き出し

<第6回防災訓練>

- ・2019年1月26日 参加者 178名 壱分小学校体育館
- ・訓練内容 ①各自治会館で安否確認
②MCA無線（各自治会館より避難情報を壱分小本部へ伝達）
③東日本大震災被災者による体験談講話（現壱分小教員） ④炊き出し

<総評>

やまびこネットワークでの防災訓練は、個別メニュー訓練としては、ほぼ実施されている。今回実施された吉分小避難所開設訓練により見えてきた課題を共有し引き継いでいくことが、今後のやまびこネットワークの防災訓練に課せられたと言える。

阪神淡路大震災の発生確率はわずか **0.02%～8%!**

みんなではじめよう危機管理!



油消火



AED



バケツリレー



安否確認



炊き出し



発電機



集団避難



更衣テント



防災グッズ手作り



東日本大震災被災者講話



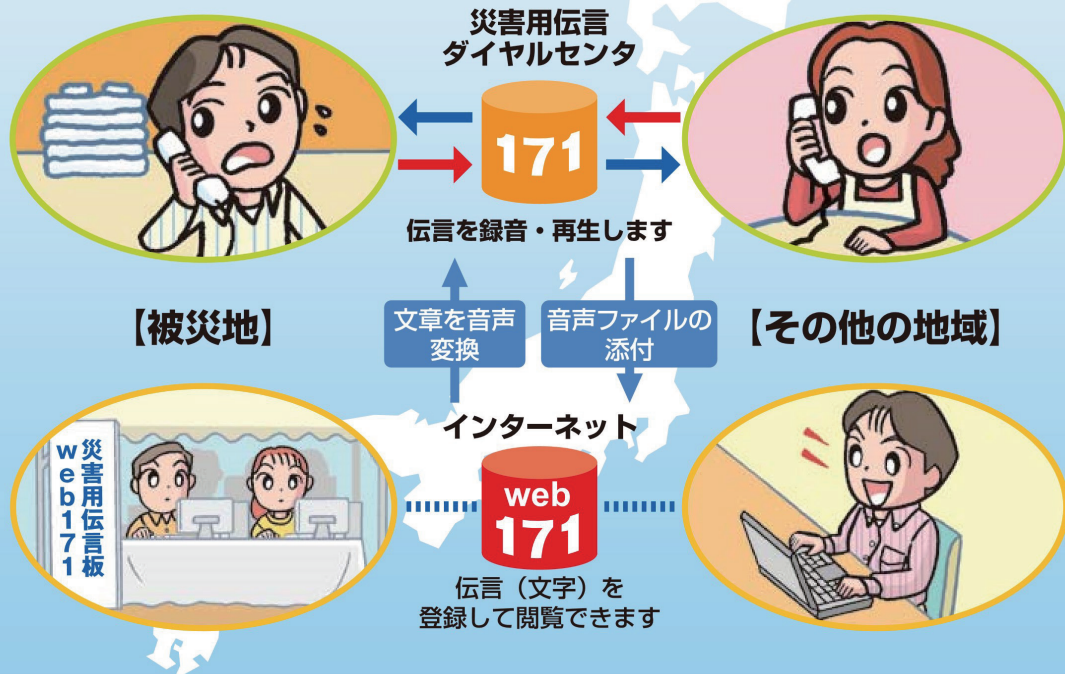
リアカー避難

災害用伝言サービス「171」&「web171」

NTT西日本が提供する災害用伝言サービスには、電話を利用する声の伝言板「災害用伝言ダイヤル171（電話サービス）」とインターネットを活用する「災害用伝言板web171」があります。

大規模災害発生

電話による安否確認の連絡が取りにくいときの、被災地域内やその他の地域の方々との伝言板です。



ご利用方法

裏面のご利用案内を確認の上、ご利用ください。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。「災害用伝言ダイヤル171」

利用ガイドンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法

- 1 171にダイヤルする
▼ガイドンスが流れます
- 2 録音する場合は 1 暗証番号を利用する録音は「3」
▼ガイドンスが流れます
- 3 () () () () () () () () () ()
被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
* 市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

- 1 171にダイヤルする
▼ガイドンスが流れます
- 2 再生する場合は 2 暗証番号を利用する再生は「4」
▼ガイドンスが流れます
- 3 () () () () () () () () () ()
被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。
* 市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。「災害用伝言板web171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 電話番号を入力
() () () () () () () () () ()
被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
* 市外局番から入力してください。
- 3 画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください

閲覧方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 電話番号を入力
() () () () () () () () () ()
被災地の電話番号*、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
* 市外局番から入力してください。
- 3 画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録してください

* 伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。



上記のデータは左記 QR コードよりダウンロード出来ます。
詳しくは NTT 西日本ホームページ
<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/> をご確認ください。